

大震災・復興ニュース(第52報)

平成24年4月12日
 仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年4月4日～10日
- 測定分析機関 宮城県農林水産部,(財)日本分析センター,いであ(株),(財)日本分析センター(独)水産総合研究センター中央水産研究所,エヌエス環境(株)
- 測定及び対応結果

丸森町の天然ヤマメで172ベクレルが検出されています。これは漁獲日が3月29日であり、この時点での規制値500ベクレルを超えていません。なお、採捕は3月1日から自粛しています。

また、気仙沼唐桑沖のマダラで98ベクレルが検出されたため、規制値は超えていないものの規制値以上の魚が流通しないよう、これまで自粛対象としていた対象海域に加え金華山以北の沿岸海域でも4月7日から出荷自粛することとなりました。

さらに、岩沼市二の倉沖のスズキで137ベクレル(4月1日からの新規規制値100ベクレルを超えたもの)が検出されたため、県から4月9日付けで出荷自粛要請をしました。なお、この海域(仙台湾南部海域及び仙台湾北中部海域)のスズキは既に3月30日から出荷自粛しています。

水産物(漁獲日 平成24年3月26日～4月5日) (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
シライトマキバイ	気仙沼唐桑沖	不検出	ババガレイ	気仙沼沖	3.37
キアンコウ	歌津末の崎沖	不検出	エゾイソアイナメ	気仙沼沖	3.2
スズキ	本吉大谷沖	12.6	マナマコ	気仙沼沖	不検出
マダラ	気仙沼唐桑沖	98	キチジ	気仙沼沖	不検出
サクラマス	気仙沼唐桑沖	1.43	キアンコウ	志津川沖	1.44
マコガレイ	気仙沼梶ヶ浦沖	不検出	ババガレイ	志津川沖	0.5
ババガレイ	歌津末の崎沖	不検出	ミズダコ	志津川沖	不検出
ホシガレイ	気仙沼梶ヶ浦沖	不検出	アカガレイ	志津川沖	4.2
アイナメ	松島湾	3.8	ネズミザメ	三陸南部沖	20.2
マコガレイ	名取関上沖	16.5	ウバガイ	亶理荒浜地先	3.6
シロメバル	仙台湾中部海域	19.1	イシカワシラウオ	阿武隈川河口	7.2
クロダイ	亶理吉田沖	19.1	ヒガンフグ	亶理吉田地先	6.7
サクラマス	亶理吉田沖	2.45	スズキ	亶理吉田地先	9.7
ヒガンフグ	松島沖	4.7	スズキ	東松島市浜市沖	8.1
コモンカスベ	松島沖	5.0	ヒメエゾボラ	仙台湾	不検出
アカガイ	仙台市蒲生沖	不検出	スズキ	名取市関上沖	6.9
ワカメ(養殖)	東松島市大曲沖	不検出	ヒガンフグ	東松島市浜市沖	4.2
ヤマメ(天然)	気仙沼市(大川)	2.6	ヌマガレイ	岩沼市二の倉沖	3.4
アサリ	名取市(名取川)	1.1	ヒガンフグ	岩沼市二の倉沖	9.1
ヤマメ(天然)	七ヶ宿町(白石川支流大深沢)	5.8	スズキ	岩沼市二の倉沖	137
ヤマメ(天然)	丸森町(雉子尾川)	172	イカナゴ(コウコ)	仙台湾大根沖	0.73
ツノナシオキアミ	歌津沖	0.76	イカナゴ(コウコ)	名取市関上沖	1.89
マコガレイ	江の島沖	5.3	クロソイ	亶理地先	3.1
アイナメ	女川湾沖	3.7	コモンカスベ	亶理地先	23.7
アカガレイ	大須沖	4.6	コタマガイ	亶理地先	17.1
ソウハチ	大須沖	7	ヨシキリザメ	太平洋沖合	2.22
ヒラメ	大須沖	4.9	メカジキ	太平洋沖合	1.24

ヤナギダコ	気仙沼沖	不検出	アオザメ	太平洋沖合	13.9
アブラガレイ	気仙沼沖	2.33	メバチ	太平洋沖合	不検出
イラコアナゴ	気仙沼沖	不検出	メバチ	太平洋沖合	2.9
ネズミザメ	三陸南部沖	13.1	ピンナガ	太平洋沖合	1.5
ケガニ	気仙沼市唐桑沖	不検出	アオザメ	太平洋沖合	9.8
エゾイソアイナメ	気仙沼市唐桑沖	不検出	メカジキ	太平洋沖合	0.39
マダラ	気仙沼市唐桑沖	25	メバチ	太平洋沖合	0.91

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

ノリの入札状況

4月9日(月)、第10回のノリ入札会が県漁協塩釜総合支所の乾ノリ集出荷場で開催された。

- ・今回の結果は以下のとおり。

数量：15,169千枚、金額：116,029千円、平均落札価格：7.65円/枚

最高値：七ヶ浜支所松ヶ浜産11.60円/枚

- ・累計結果は以下のとおり。

数量：110,398千枚(前年同期までの29%)、金額：1,080,446千円(前年同期までの35%)、累積平均単価：9.79円/枚(前年同期までの119%)

<トピックス>

塩釜市が水産加工施設整備補助について説明会

4月9日、国の復興交付金事業である水産加工施設整備に対する補助事業について、その説明会が塩釜市新浜町のトラック協会塩釜支部会議室で行われた。

この事業は公募方式で、3億円以上の大規模な水産加工施設を新設する場合、事業費の7/8を補助することとしており、民間企業対象としては塩釜市が県内で初となる。

今年度の事業費は5事業者各6億円程度、計30億円を想定しており、公募期間は4月24日まで。提出された事業計画をもとに5月下旬に対象事業者を決定することとしている。



説明会の様子

水産加工開放実験室が放射能検査を開始

塩釜市団地水産加工業協同組合の水産加工開放実験室が4月9日から、塩釜市魚市場に水揚げされる魚介類の放射能検査を開始した。

検査はNaIシンチレーションカウンターを用いた簡易検査であり、現在は週4日、1日5検体体制で行い、検査結果が50ベクレル/kgを超えた場合、県の精密検査に回されることになっている。



NaIシンチレーションカウンター